

令和7年度人身事故発生速報

今年度はクマの目撃や人身事故の発生ペースが過去最多だった令和5年度を上回り、近年例を見ないほどリスクが高まっています。事故事例を参考に一人でも一件でも事故を防げるよう事故速報を公開します。

	日時	時刻	場所	発生状況	事故を防ぐために留意して欲しいこと
1	R7.5.12	15時頃	郡山市熱海町中山地内	4名で山地内作業中にうち1名(50代男性)が体長約1.5mのクマに襲われる人身事故が発生しました。複数で行動中の事故です。	山に入る際には最寄りの役場や警察署からクマ目撃情報を得ることが必要です。川桁山周辺は過去にも目撃が多く、また人身事故も発生しています。また山に入る際は単独行動を避けるとされていますが、複数で入山しても、離れて歩いたり、却って周辺への注意力が欠けてしまうこともあります。
2	R7.7.2	5時30分頃	西会津町野沢字屋敷前乙地内	1人(80代男性)で散歩中に親子グマに遭遇し顔面を負傷する事故が発生しました。	このエリアは以前からクマの目撃情報が多く寄せられていますが、恐らくこれまでは大丈夫だったという「人のクマ慣れ」が問題です。年によってクマによる危機レベルが異なることを踏まえ、地域住民(とくに高齢者)への情報提供のあり方を考える必要があります。
3	R7.7.14	9時頃	下郷町湯野上館本乙地内の河川敷	阿賀川河川敷で野鳥調査中の30代男性2名がクマに襲われました。	ヤブが繁茂している河川敷はクマの移動ルートとしてよく使われます。河川敷に立ち入る際には、「クマが潜んでいる」ということを頭に置き、花火などで追払った後に、気配を伺うなど注意をして立ち入るようにしましょう。また、河川敷だけではなくその周辺の林やヤブも、農地や住宅敷地内侵入の移動ルートとして使われます。草刈りなど環境管理を行いましょう。
4	R7.8.1	11時頃	福島市上名倉宇大石前福島市民家園内	2人で散歩中に突然クマが現れて、妻を守ろうと大声を出した男性(50代)が体長約1mのクマに襲われました。	民家園は荒川河川敷に接した木立の多い緑豊かな公園施設で、一方荒川周辺は市内でもクマの目撃情報の比較的多いエリアで、隣接するあづま運動公園内でも年によっては目撃回数が高くなります。また、どんなに管理の行き届いている公園施設内でも自然が豊かであれば、それだけクマ出没のリスクがあるということを念頭に利用者側も注意を払うことが大切です。クマに遭遇した時に、追い払おうと大声を出すのは却って危険だという意見もありますが、ほとんどの人が声を出してしまっているのも事実です。このケースでは咄嗟に妻を守ろうと身を挺した夫の勇氣に敬意を払うべきだと思います。不意に遭遇した時に絶対にしてはいけないことは、後ろを向いて逃げようとするということです。
5	R7.9.5	11時頃	喜多方市山都町二本木地内の阿賀川河川敷	男性2名(40代、70代)が河川付近の竹林内で除草作業中、藪から出てきた親子グマ2頭(親の体長1.2m)に襲われました。	7/14の下郷町の事故同様、河川敷での作業中の事故です。通常目撃数は6月をピークに7-8月と減少しますが、R7年は目撃数が減らないため注意報が発令されました。注意報や警報が発令されている年には、普段より一層事故防止を徹底するようにしましょう。
6	R7.9.20	16時30分頃	喜多方市山都町小舟寺字舟山地内	70代女性が墓の掃除中に熊に襲われました。	お墓参りや墓地周辺の草刈り中の事故は決して少なくありません。山林に接していたり、或いはクマがよく目撃される河川敷に近い墓地での事故が多いようです。警報発令時など状況によっては、お寺などに断って花火などで追払うことも必要だと考えられます。
7	R7.9.27	21時頃	湯川村浜崎字殿町地内	村道を歩行中の60代女性がクマに襲われました。	警報発令時、とくに夜間一人で歩くのは大変危険です。R7年度は河川敷やその周辺での目撃や事故が多発しています。河川の近くは一層の注意が必要です。
8	R7.10.6	18時40分頃	南会津町古町字中川原地内(旧伊南村)	月を見るために自宅前の道路に出たところをクマに襲われた模様です。	この現場も伊南川の近くです。なぜ河川敷さが移動ルートとして使われるのか? エサが不足しているためエサを探すために移動性が高まっていると考えられます。
9	R7.10.7	8時30分頃	会津若松市河東町八田地内	鳥獣被害対策実施隊員である70代男性が、くくり罠の見回りをしていたところ、錯誤捕獲でくくり罠にかかっていたクマに襲われました。	有害捕獲実施中の事故です。捕獲従事者の減少、高齢化などの社会的な課題がある中、単独での罠見回りが多くなってしまう傾向があります。他県では罠の設置や見回りを手伝う補助員制度もあり、捕獲隊だけでなく、地域一体での対策・支援が必要です。
10	R7.10.9	11時15分頃	檜枝岐村字帝釈山地内	60代男性が、山林にキノコを採りに行く途中、クマ1頭に襲われました。	山にキノコ採りに入った際にクマと遭遇し、被害に遭ったものです。この時期は山にキノコ採りに入る方が増えますが、今年はエサとなるドングリ類が非常に少なくクマの行動に変化が見られるため、これまで問題なかったからという油断は禁物です。山はクマの生息地であることを十分理解し、山に入る必要がある際は、複数人で行動する、花火や鈴、ラジオの音などで人の存在を知らせる、クマスプレーを持参するなど、最大限の注意を払ってください。
11	R7.10.16	4時30分頃	喜多方市山都町木幡字北向甲	60代男性が、駅に向かい歩行中、クマに襲われました。	朝夕はクマとの遭遇リスクが高いため、徒歩による外出は控えてください。またこの現場も一ノ戸川の近くで、河川付近はクマがエサを探すための移動ルートとして使用しており遭遇リスクが高いです。
12	R7.10.16	5時30分頃	昭和村下中津川字新田	男性が自宅敷地内の畑で落花生を食べていたクマ1頭に襲われました。	朝夕はクマとの遭遇リスクが高いです。また、今秋のクマはとにかく腹を空かせています。自宅敷地付近であっても、カキやクリや野菜などに誘引されることから注意が必要です。
13	R7.10.16	6時30分頃	会津若松市芦ノ牧居平	男性が原動機付自転車で通勤途中に親子グマに遭遇し襲われました。	今年は親子グマの目撃が多くなっています。親クマは子グマを守るため攻撃性が高まっており非常に危険です。今年は新聞配達等でバイク走行中に、クマに遭遇するケースが複数発生しています。できるだけ車を使用するなど注意が必要です。また、この現場も阿賀川付近です。